

住民の声

地域で頑張っている方たちの声をお聞きしたく、今回は、佐賀地域の鈴部落をお尋ねしました。

鈴部落は、黒潮町の海岸線の最東部に位置し、戸数53戸、人口90人のほどの集落です。

鈴地区と言えば大敷網や釣り筏が頭に浮かぶほど漁業が盛んな地区です。お尋ねした9月上旬にも、鈴大敷網組合の皆さんが11月始めの網入れに向けて準備をされていました。

鈴地区は海に面した狭隘な土地に人家が密集した集落ですが、それゆえに住民それぞれの結びつきが強く、ま



地域の守り神「天満宮」

た、漁業が盛んなため、祭事などは賑やかに行われるとのことでした。

なお、地域の守り神「天満宮」のお祭りは、毎年11月1日に地区総出でお祭りすることのことで、「是非、遊びがてらにでもお出で下さい」と、森田区長からのお誘いを頂きました。



今日は2ヶ月に1度のモーニングです



山側からの1コマ 中央奥には海も

にぎわう週2回の移動販売(下) シーズン間近！大敷網の手入れを(下)



森田区長の声

月日の経つのは早いもので、区長も13年目になりましたが、東日本大震災からのこの数年は、地震・津波対策への考え方が一変しました。

この地区は海に面しているため、新たな考え方のもと、地区住民の命を守るために、地区の

皆様のご理解とご協力を、また、行政の皆様のご協力を得ながら避難道の整備などを進めてき



奥様への誕生日プレゼントにご満悦です。孫さんからのプレゼントの森田区長ご夫妻の復旧を望んでいること、地区をあげて早期の復旧を望んでいること、

ました。

現在の大きな事業としては、水道の貯水タンクや配管の工事を行っており、今年末までには完成の予定です。

また、現在の課題は、今年6月の台風4号により町道荷稻〜鈴線が通行止めとなり、窪川方面が不便な状態となつて



市場(中央部)の向こうに鈴地区の集落が(海側より)

編集後記

今9月定例会で「黒潮町人権尊重のまちづくり条例」が制定されました。人権といえば、今年のノーベル平和賞に、女子教育の権利を訴え続けているマララ・ユスフザイさん(17才)が史上最年少で受賞しました。暴力にも屈しなかった少女の強い信念と勇気が世界の共感を呼び、平和賞につながったとのこと。

また、この賞の選考では、神奈川県内の一主婦の発案した「憲法9条を保持してきた日本国民」が短期間で有力候補になり、「9条」が世界に誇れる価値をもつことを国内外に印象づけると共に、私たちも多いに励まされました。

広報委員一同

議会広報常任委員会

- 委員長 宮川 徳光
- 副委員長 藤本 岩義
- 委員 池内 弘道
- 同 坂本 あや
- 同 宮地 葉子
- 同 森 治史

広報常任委員

交代のお知らせ

委員の欠員に伴い、新たに池内弘道議員が委員になりました。